

八王子市議会レポート

No.75 2017年2月25日

# つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派  
厚生委員会所属

北野台在住



発行：生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会

〒192-0913 八王子市北野台4-16-2

TEL 042-636-8631 FAX 042-636-8640

4期目 スタート!

E-mail [jinnaiya@mbk.nifty.com](mailto:jinnaiya@mbk.nifty.com) URL <http://jinnai.ne.jp/>



寒中 お見舞い申し上げます。



立春が過ぎたとはいえ、まだ寒い日が続いています。

2017年も早1か月が過ぎたのですが、世の中の不安定さが目につくようになっていきます。アメリカは、トランプ旋風で対立がむき出しです。議論ではなく、一方的な決めつけが横行しています。日本も、国会審議が軽視され、言葉が力を持ち得なくなってきました。民主主義はいずこへ。

2017年度予算が提示されました。予算審議はこれからですが、概要をお伝えします。

一般会計 : 1,971 億円

- ⇒過去最大の昨年に続く、2番目の規模
- ⇒歳出圧縮が進まない
- ⇒教育費が今年度も減
- ⇒個人市民税は増え、固定資産税の家屋分も増える。

国民健康保険事業特別会計 : 733.5 億円

- ⇒国民健康保険税が減っている
- ⇒一般会計からの繰出しも減
- ⇒2018年度から都道府県への一元化となる

介護保険特別会計 : 400.6 億円

- ⇒保険料収入は減
- ⇒65歳以上の被保険者、要支援・要介護認定者は増

一般会計の借金 : 119 億円

- ⇒やめられない臨時財政対策債を2017年度も49億円も借りることに・・・

\*臨時財政対策債とは赤字地方債で、何にでも使える麻薬のようなくせになる担保なしの借金。

まとめ：国も自治体も借金体質からぬけられず、かといってその借金がセーフティネットを繕うものとなっていない。大型公共事業では、不安はぬぐえない。

<<日程>>

- 2月24日 第1回定例議会招集日  
補正予算代表質疑(陣内)
  - 27日 総務・文教委員会
  - 28日 厚生・都市環境委員会
  - 3月3日 本会議 当初予算代表質疑
  - 6日 本会議
  - 7日～13日 予算特別委員会
  - 14日～17日 予算分科会
  - 24日 予算特別委員会
  - 28日 本会議
  - 29日 本会議(一般質問)
- \*一般質問は10人のみ。陣内はなし。

## カフェミーティング



2017年3月11日(土)

10時～12時

北野市民センター会議室

震災から6年。福島を風化させない。そんなことを考えながら、防災のこと、市政などについて、おしゃべりしませんか？

## 第4回定例議会 こんなことを質問しました。

### ■生活支援員って、なあに？

介護保険制度の要支援1、2の方々のサービスが、地域総合事業へと振り代えられました。今は、まだ、試行段階ですが、今年の4月から本格実施(全域)予定。また、住民が主体となって実施する訪問Bや通所Bも、実施となるのです。その担い手をコーディネートする役割が、生活支援コーディネーター(6人)なのですが、この方々が、どんな仕事をするのか、どこで仕事をするのか、見えていません。

**陣内：**石川に作られて地域拠点に生活支援員が配置されて、残りはボランティアセンターにしているということだが、これで、地域の支え合いの仕組みを担えるのか？

**副市長：**混乱しているというのは、実感している。整理をしていきたい。

**陣内：**市民センターでも包括支援センターでも、地域に密着したデスクで、常に地域住民と接することが出来るような場所においてこそ、コーディネートの仕事ができるのではないか。

⇒この質問のあと、コーディネーターはボラセンに引き上げられ、拠点施設への配置は、CSWとなる。拠点施設も6カ所にしていくとのことで、場所は、市民センターなどを考えているようだ。生活支援コーディネーターは、ボラセンにいて、いったいどんな仕事をするのだろうか。地域の助け合いの担い手は、市が講習会を開いて、育成するというのが、介護は専門職で、と言ってきたこれまでの方針と真逆の施策です。生活援助が軽んじられている。

### ■意見書を提出しました。

沖縄県北部訓練場建設に対し、民意の尊重を求める意見書  
(生活者ネット社会民主党市民自治の会 提出)

1. 「土人」発言等の沖縄に対する侮蔑的な発言を謝罪し、機動隊による暴力的な対応を中止すること。
2. 民主主義と地方自治の原則にのっとり、沖縄県民の民意に誠実に向き合い、地元の理解なしに工事を強行しないこと。

を求めたのですが、残念ながら、自民党、公明党の反対で、否決されました。日米安保体制に賛成する人は、その負担とリスクを沖縄に押し付けていることをどう考えているのだろうか。この構造自体が差別といえる。

### ■出かけてみませんか？

2017年4月9日(日) 13時～15時

『ふくしまは今』

講師：早尾貴紀さん(東京経済大学准教授)

会場：武蔵野会館2階 第1集会室

(青梅線中神駅北口 徒歩2分)

主催：お茶ちやの会&でんでん虫の会



出典：  
平成25年3月  
地域包括ケア研  
究会報告書より

### ■川町のサッカー場建設問題について



(陣内は、残土埋立によるサッカー場建設に反対です。)

川町のサッカー場予定地を三多摩議員ネットの皆さんが視察しました。環境を考える会の方に丁寧なご説明をいただきました。貴重なシダ類をはじめとして、動植物が生息している地域です。しっかりと守っていかなければならない立場の市ですが、具体的な環境調査を実施せず、東京都に判断をゆだねてしまいました。これって、中核市のやること？ 自治はどこにいったのでしょうか。

### ■厚生委員会行政視察に行ってきました。

(12月19日～21日)

・福岡の薬剤師会が取り組んでいる節薬運動。地域の薬剤士さんと連携することで、ごみ箱行きのお薬を削減する仕組みができています。なるほど。

・大分市では、なり手不足が続く民生委員の庁内サポート体制が出来上がっています。やっぱりこれって、必要ですね。24時間365日のケアはサポートなしにはできません。

・久留米市の自殺対策事業では、かかりつけ医と精神科診療の連携が図られ、ゲートキーパーの養成にも力を入れています。

3年連続自殺減少。

セーフコミュニティの国際認証

をとり、外部評価を導入。

成果を見えるようにすることが重要です。

